

令和5年度決算に係る
定期監査資料

令和6年6月

消防防災航空センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	現金の取扱状況	3 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
7	財産に関する調べ	3 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
8	財産の貸付け及び使用許可調べ	3 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
9	借受不動産明細調べ	4 頁
10	職員駐車場の管理状況調べ	5 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
11	寄附物件の受納状況調べ	5 頁
12	備品の処分状況調べ	5 頁
○	意見、要望等	5 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 勧告事項 該当なし
- (2) 指摘事項 該当なし
- (3) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和6年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	当 該 年 度	5.8.1 現 在	当 該 年 度	5.8.1 現 在	当 該 年 度	5.8.1 現 在	当 該 年 度	5.8.1 現 在	
定 員	1	1	0	0					
現 員	() 1	() 1	(8) 8	(8) 8	()	()	(8) 9	(8) 9	技術職員は航空 隊員で県内消防 局と併任
過不足(△)	0	0	8	8			8	8	
臨時的 任用職員									
会計年度 任用職員	2	2					2	2	消防防災・運航 安全専門員 1名 事務員 1名

4 役付職員の調べ

（令和6年6月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
所 長	秋山 賢治	1年	2月	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
消防防災ヘリコプター運航費	401,568	122		926	400,520
将来ビジョン	-				
令和新时代創生戦略	大項目 - 中項目 - 小項目 - SDGsゴール 13 気候変動に具体的な対策を				
政策項目	-				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

消防防災ヘリコプターが持つ高速性・機動性を活用し、迅速で効果的な救急・救助・消火活動等を行うことにより、県民の安全・安心を確保する。

(イ) 事業の実施状況

<消防防災ヘリコプター「だいせん」(機種：AW139)の運航>

・運航日(体制)：365日体制(ただし、定期点検等による運航不能期間を除く。)

※本県防災ヘリが運航不能の場合は、相互応援協定により鳥根県ほか中国各県の防災ヘリが出動する。

・運航時間：原則 8:30~17:15(緊急時等 日の出から日没)

・運航管理責任者：消防防災航空センター所長

・消防防災航空隊：各消防局から8名派遣(隊長1名、副隊長2名、隊員5名)

・運航方法：民間運航会社に委託(令和4年4月から二人操縦士体制に移行)

<運航実績(R5.1.1~R5.12.31)>

区分	件数	主な活動内容
緊急運航	災害応急対策	4 江府町江尾の建物火災状況のヘリテレ伝送(8月8日) 鳥取市佐治町、三朝町等で台風7号被災状況調査(8月16日~)
	火災防御	3 鳥取市福部町のらっきょう畑火災への出動(8月9日)
	救急	42 大山夏山登山道で意識不明登山者の救急搬送(5月27日) 写真(上)
	救助	28 台風7号による鳥取市河原町内の孤立集落救助(8月17日) 写真(下)
	応援協定	4 鳥根県の要請で隠岐島から松江市内へ患者搬送(8月9日)
通常運航	144	各消防本部ほか関係機関との合同訓練、救助・救急・消火・ヘリテレ伝送等訓練、海岸・河川・道路・森林の現況調査
合計	225	



イ 令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ヘリ運航の安全を高めるため。訓練時・緊急出動時を問わず、活動前の打合せや事後の振り返りを徹底し課題を全員で共有している。また、各消防局や他県航空隊との合同訓練、場外離着陸場の調査、各消防局への研修、県立中央病院、公立豊岡病院での研修等を積極的に実施した。
- ・大規模災害発生時に本県に集まる多くのヘリコプターが円滑に救助活動を実施できるよう、関係機関で「航空運用調整会議」を開催し、鳥取空港における駐機スポット調整等の課題を協議した。

ウ 成果及び効果

- ・平成10年の航空隊の発足以来、ヘリコプターの高速性・機動性を活用し、空から迅速で効果的な救急・救助、消火及び災害応急活動を行い、県民等の安全・安心を守っている。
- ・令和5年8月の台風7号災害では、ホイスト(要救助者や航空隊員を吊り上げて機内に収容する装置)を使った孤立集落住民の救出など、ヘリコプターの機動性を活かした活動を実施した。

- ・令和6年能登半島地震において、消防庁長官からの出動指示を受けて石川県の小松空港に出動し、緊急消防援助隊の航空指揮支援隊として、被災地における各県航空部隊活動の支援を行った。

エ 課 題

- ・現行ヘリが導入10年目となり、部品の老朽化による機体不具合が増えているのに加え、円安やウクライナ・中東情勢等の影響による世界的な部品供給不足で、ヘリ修繕経費の高額化や運休期間の長期化が課題となっている。
- ・能登半島地震も踏まえながら、大規模災害の発生時にヘリコプターによる救助活動が円滑に実施できるよう、関係機関との連携（航空運用調整）を更に密にしていくとともに、鳥取空港における駐機スポットの調整等に関するルールづくりを進めていく。

6 現金の取扱状況

- (1) 現金取扱状況 該当なし
- (2) つり銭の状況 該当なし

7 財産に関する調べ

(1) 公有財産

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

- ア 金券の保有状況
 有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和6年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
28枚	枚	枚 円	28枚

8 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

9 借受不動産明細調べ

(令和6年3月31日現在)

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量 又は 面積	契約の状況			借受先	備考	
					契約書の有無	借受期間	借料(円)			
							単価	本年度の借料		住所名
建物	共同住宅	派遣隊員宿舎	鳥取市湖山町東 1丁目647-5	2室 (各 25.77 平米)	有	H29.3.20 ~H30.3.19 (~R7.3.19)	月額・年額 94,000	1,128,000	鳥取市湖山町北1丁目 427-1 株式会社エル・オフィス	※203号室は3/29~ 翌年3/28まで ※更新は1年ごと (更新料なし)
建物	共同住宅	派遣隊員宿舎	鳥取市湖山町南 2丁目697	1室(57.07 平米)	有	R4.3.25 ~R6.3.24 (~R8.3.24)	月額・年額 64,000	768,000	鳥取市富安1丁目12 3グランマスト富安2F 積水ハウス不動産中国 四国株式会社	※世帯用物件 ※他に安心サポート 24(役務費、月額 770円×12月分) ※他に更新料30,000 円(賃借料、更新 は2年ごと)
合計				3室				1,896,000		

10 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

11 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

12 備品の処分状況調べ

(令和6年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分					備 考
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額	処 分 費 用	
液晶テレビ (シャープ・ア クオスLC-4 ODX3-B)	H23. 5. 10	R5. 9. 20	棄却	経年による故 障のため	R5. 8. 21	0円	4,700円	家電リサ イクル料 ・収集運 搬料
合 計						0円	4,700円	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等
特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等
特になし